教習

所の指導員として勤務し

平成27年から南宇和

自動

車

指導員に転職を決意 **"教える』に興味があ**

IJ

250人が免許を取得

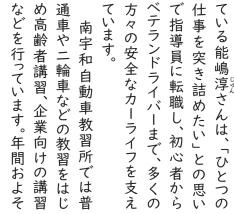
してお



【町内で生き生きと仕事をしている方を紹介します】



じゅん 南宇和自動車教習所 指導員 能嶋



らいいや、ではなく、継続して安 には、『車は便利なもの』であり 反でカーライフを送れるように いる」そう話す能嶋さんは、 全運転ができるようにあたって 必ず伝えています。「卒業できた でも多くの卒業生が無事故無違 。時に危険なもの』ということを 初めて免許を取得する教習生

MINAMIUWA

Ļ 員で教習や講習を行っています。 齢者講習は年間で約千人が受講 生徒が教習に通います。また、高 2~3月は高校生など約60 、能嶋さんを含め6人の指導 進学や就職を直前に控えた 人の

生涯無事故無違反を願 卒業生の ()

う、 レンドリーに、強弱をつけた指導 生の不安や緊張が解けるようフ て自身の指導スタイルも臨機応 えることを第一に考える能嶋さ らこそ、より通いやすい環境を整 でスムーズな教習を心がけます。 変に工夫する」と話します。教習 んは、「単調な指導にならないよ 教習はマンツーマン指導。だか 教習生や環境の変化に応じ

の思いで高齢者の方々に講習を 合もありますが、「被害者にも ともあるそうです。 認 行っています。 加害者にもなってほしくない」そ 時には苦しい判断が必要な場

卒業までの間、指導員として最 大限にその思いを伝えます。

11 つまでも健康で安全に

場合はご家族への相談を促すこ ドバイスをするなど、安全運転の します。また、実車指導の際には る統計や事故の特徴を必ず説明 習を担当する際は、愛媛県内で あります。能嶋さんが高齢者講 も大きく取り上げられることが 基本を受講者の方と一緒に再確 運転能力の見極めに集中してア 発生する年間の交通事故に関す 故は後を絶たずテレビや新聞で 願うのは、高齢者の方々が1 をしている」と話す能嶋さんが い愛南町。「ご本人の運転能力に でも長く車に乗ってもらうこと。 応じてできる限りのアドバイス しますが、更新が難しそうな しかし、高齢者による交通 生活するうえで車が欠かせな 日

言葉を思い出してほしい ふとした瞬間に自分の

げたら」と、日々の教習や講習を フは全て自己責任。指導員とし かけで、事故や違反を未然に も「教習中の自分の一言がきっ てアドバイスもできない。それで 行っています。 免許を取得した後のカーライ

です。 を目指し、日々の業務に奮闘 アップとして検定員資格の取得 能嶋さんは、自身のステップ 中

